

千葉県知事 森田 健作 様

2019年3月7日
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長
古 屋 一 樹

事業所名	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	
所在地	〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8	
代表者名	代表取締役社長	古 屋 一 樹
担当窓口	千葉ゾーン ゾーンマネジャー	福 島 一 晃
	千葉ゾーン 行政推進担当	峰 泰 明
事業概要	設立	昭和48年11月20日
	資本金	172億円
	従業員数	8,886人
	平成30年2月期実績（国内）	
	全店売上高	4兆6,780億8千2百万円
	営業総収入	8,498億6千2百万円
	営業利益	2,441億1千万円
	当期純利益	1,667億6千万円
店舗数	20,260店	
事業内容	コンビニエンスストアを展開	

年間計画書

千葉県下のセブン-イレブン店舗 1,120 店（2 月末時点）で、お届けサービス等日々の業務を通して高齢者の見守り・買い物難民支援・認知症対策・高齢者雇用等に取り組みます。

I 高齢者の見守り

セブン-イレブンのお届けサービスを通して、高齢者の見守り活動に取り組みます。

- ・お届け（セブンミール含む）を通して、異変を察知した場合、即座に 119 番及び警察署・市町村へ通報します。
- ・市町村が実施している配食事業への参画を通じて、独居高齢者の見守り活動を広げます。
- ・店舗で徘徊している高齢者を発見した場合、保護し消防・警察及び市町村へ通報します。
- ・各市町村における連絡会・報告会に可能な範囲で参加していきます。

I-2 移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」

移動困難者対策で、移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」を運用します。

- ・販売設備付きの軽トラックで、日常のお買物に不便な地域や移動手段にお困りのご高齢の方が多地域を中心に巡回し、移動販売を提供します。
- ・常温の商品から冷凍品までさまざまな食品や飲料などを用意しています。

- ・2019年2月現在、県内で千葉市1台・鴨川市2台・鋸南町1台・南房総市1台を稼働しており、今後もお客様のニーズに合わせて拡大していく予定です。

II ちばSSKプロジェクトの普及啓発

ちばSSKプロジェクトのロゴが印刷されたポスターの配布及び啓発に努めます。

- ・セブン-イレブン店の手等に年間を通して掲示します。
- ・地域における孤立化防止・見守り事業について参加します。

III 認知症対策

県内セブン-イレブン本部社員は、認知症サポーター養成講座を受講します。

- ・各15エリア（市原、木更津、成田、千葉中央、船橋、松戸、柏、房総、千葉北、習志野、浦安、銚子、北総、流山、千葉東）で加盟店対象の認知症サポーター養成講座を定期的を開催し、従業員の認知症サポーターを養成します。
- ・地域の認知症に関わるイベント等への参加に努めます。

IV 高齢者の安心・安全

千葉県警察本部生活安全部及び千葉県CVS防犯協力会との緊密な連携をとり、特殊詐欺や消費者被害の防止活動について協力をします。

- ・年2回の合同防犯訓練・防犯キャンペーンに積極的に参加します。
- ・店舗にて電子ギフト券詐欺被害と思われる高齢者がいた場合、未然防止および警察へ通報します。
- ・ATMセカンド画面にて電話d e詐欺の注意喚起を表示します。
- ・見守り活動を通して、高齢者の過度な商品注文や宅配物を発見した場合、市町村へ通報します。

V 高齢者の雇用（生きがい、健康、仲間づくり）

- ・高齢者を店舗従業員として採用し、高齢者の生きがいや幅広い仲間づくりを支援します。
- ・仕事を通して、生きがい、健康、仲間づくりに繋げて行きます。
- ・県内各市町村と緊密な連携に努め、高齢者向けのお仕事説明会を昨年度同様、定期的を開催していきます。
- ・高齢者の能力やライフスタイルに合わせた短時間勤務の採用に取り組みます。
- ・就労支援の為に受講料無料のレジ勉強会を継続します。
- ・高齢者雇用で成功している店舗の事例を共有し、店舗が高齢者を受け入れやすい体制を整えます。

以上